

普及現地情報



発信年月日：令和5年（2023年）6月9日
所属名：高島農業農村振興事務所農産普及課
番号：H23001
部門分類：160（果樹）
発信者名：山下

令和5年産の「高島いちじく」がスタート

6月1日に高島市勝野のいちじく栽培ほ場において、「高島いちじく芽かき研修会」がJAレーク滋賀安曇川営農経済センター主催で、生産者および関係者あわせて12名の参加のもと開催されました。ベテラン生産者から、昨年度初めて植栽された生産者まで集まり、新規栽培者はほ場を見ながら活発な意見交換がなされました。

高島市内のいちじく栽培は平成24年の栽培面積約2.4ha、出荷量約20tをピークに、その後の凍害や病虫害の多発により、その栽培が約1haまで減少していました。しかし、関係機関連携のもと、新規栽培者の発掘や既存園のリフレッシュ剪定による主枝更新・樹勢回復に向けた施肥の実施により、現在約1.7haまで面積が回復しています。

特にJAに集荷されるものだけが「高島いちじく」として、市場および生協に出荷されています。令和4年は8名が4.2tを出荷され、過去3年間でJA集荷量は2倍に増加しています。また、生産努力と検品により、市場評価は高まっており、販売単価もそれに伴い上昇しています。

今回の研修会では、ベテラン生産者も多いことから、当課より新梢管理や樹勢維持・回復のための追肥の施用、スリップス対策について説明し、基本的な技術について再確認するように促しました。

今後も関係機関と連携しながら、有利な園芸品目として、各研修会の支援や新規栽培者の技術指導などを通じ、産地復活に向けた活動を支援していきます。



生産者からの質問を受ける当課担当